

公開・非公開の別

公開 部分公開

非公開

令和4年度 第1回浜松市障がい者自立支援協議会東エリア連絡会全体会議録

1 開催日時 令和4年6月6日（月） 午前10時00分から午前11時30分

2 開催場所 浜松市東区役所33会議室 Zoom開催

3 出席状況 ○出席委員 (敬称略)

障害者相談支援事業所ひがし：長谷川

児童発達支援センターさんぽみち：濱島

ウイズ半田：斯波

さぎの宮寮：高杉

包括支援センターさぎの宮：河合

浜松市教育委員会SSW：根木

浜松医科大学附属病院：豊田

知的障害者相談員・浜松手をつなぐ育成会：高林

民生委員児童委員：清水（会場へ来場）

社会福祉法人社会福祉協議会：高桑（会場へ来場）

東区社会福祉課：鈴木課長、久野

オブザーバー 基幹相談支援センター：玉澤

4 議事内容 1. 令和3年度浜松市障がい者相談支援センター実績報告（平野）

2. 浜松市障がい者自立支援協議会 東エリア連絡会について

(1) 短期型課題検討部会 経過報告

①介護障がい連携ワーキンググループ（長谷川）

②障がい者の余暇支援ワーキンググループ（平野）

(2) 令和3年 東エリア連絡会 ネットワーク会議の報告（高橋）

(3) 令和3年 東エリア連絡会 研修の報告（高橋）

(4) 東区自立支援連絡会広報誌について（野口）

3. 地域課題に関するケース票について（平野）

5 会議録作成者 東区社会福祉課障害福祉グループ 久野加津夫

6 記録の方法 発言者の要点記録

録音の有無 無

7 会議記録

1 開会

会の成立（出席人数の報告）構成員の過半数出席

傍聴者の承認

あいさつ

<あいさつ：東区社会福祉課：鈴木課長>

新型コロナは減少傾向の様子だが、若年層の流行と施設でのクラスターが散見される。浜松市では4回目の摂取券を対象者宛に発送している。これからは新しい生活様式に適應していただく。

また、区の再編の具体的なスケジュールが明らかになりつつある。本年度、新区名案の投票と条例議決が有る。

区再編後、東エリア連絡会がどのようになってゆくか、今後情報提供してゆく。

浜松市立自立支援協議会からの報告

<報告：東区社会福祉課：久野>

「令和4年度 浜松市障がい者自立支援協議会 年間予定表」をもとに、令和4年度のスケジュールを説明した。

今年度から浜松東障がい者相談支援センターに配属された野口、自己紹介

2 議題（進行：浜松東障がい者相談支援センター：三嶋）

1. 令和3年度浜松市障がい者相談支援センター実績報告

<報告：浜松市東障がい者相談支援センター：平野>

令和3年度は、新規相談193件のうち、成人は146名、児童は47名、成人が約3/4、児童が約1/4だった。相談項目の内訳では「その他」項目が突出しているが、福祉サービスを利用したいがよく分からないという状態で相談に来ることが理由。

<ウイズ半田：斯波>

センター化の前後、令和2年度と令和3年度の比較ができるといいと思う。

<浜松市東障がい者相談支援センター：平野>

数値を出すことは可能だと思うので、精査していきたい。

<ウイズ半田：斯波>

難しいかもしれないが、努力して欲しい。

<児童発達支援センターさんぼみち：濱島>

情報の取り方を、全エリアで共有されていれば、比較しやすい。

<浜松市東障がい者相談支援センター：平野>

センター化と同時に新システムになったので、システムから数値を出せる

部分と手計算で出す部分があって、それを比較するのが大変。他のエリアがどうしているのかは、不明。システムの改修となると、予算がからんでくるので、なかなか変更できない。

<児童発達支援センターさんぽみち：濱島>

項目を全エリアで統一することは大切。

<浜松市東障がい者相談支援センター：三嶋>

こんな項目があれば、課題につながってゆくのではないかな等、ご意見があれば、ご教示いただきたい。

<ウイズ半田：斯波>

項目等、全エリアで整理してゆくのは、基幹センターの役割ではないか。

<基幹相談支援センター：玉澤>

システムに関しては、基幹センターからも行政に提案している。

<浜松市東障がい者相談支援センター：三嶋>

高齢者福祉の観点から感想は有るか？

<さぎの宮寮：高杉>

これだけの数に対応していて、すごいと思う。東区の3包括支援センターでは、ここまでの数には対応していないので、大変さが分かる。

高齢者福祉の現場では、8050 問題どころか、9060 問題も発生しているような状況。この先、介護と障がい、児童福祉と障がいの問題共有も進めていかななくてはならない。

<浜松市東障がい者相談支援センター：平野>

8050 のデータを出して、どんな問題が有るか示していかなければならないと思っている。包括支援センターで抱えている問題を共有できれば、今後の展開があると思う。

<浜松市東障がい者相談支援センター：三嶋>

医療との連携という観点から感想はあるか？

<ウイズ半田：斯波>

医療との連携に関連して、ウイズでは、眼科医との間に全県的な組織を作っている。相談支援を通してとか、眼科に行って困り感を持った障害者がウイズにつながることもある。他の障害種別の人たちについても、各医療機関と連携を深めてくれるといいと思う。

<浜松市東障がい者相談支援センター：三嶋>

子どもの分野から感想は有るか？

<浜松市教育委員会 S S W：根木>

こうしてデータで示してもらえるのは、とても分かりやすい。

<浜松手をつなぐ育成会：高林>

自分としては、育成会とのつながりは把握しているが、他の人たちがどう福祉につながっていくのか知ることが出来て、参考になった。

2. 浜松市障がい者自立支援協議会 東エリア連絡会について

<説明：浜松市東障がい者相談支援センター：平野>

組織図について、説明。

(1) 短期型課題検討部会 経過報告

短期型課題検討部会の3つのワーキンググループのうち、「介護保険第2号該当の方の居場所等ワーキンググループ」については、方向性が決まって、終結に向かっている。今回は、他の2つのワーキンググループについて報告する。

①介護障がい連携ワーキンググループ

<報告：障害者相談支援事業所ひがし：長谷川>

5月24日に第一回目の基礎編の研修を開催した。アンケートでは、介護保険と障がい福祉サービスの違いについて学ぶ場となった、という意見が見られた。

<包括支援センターさぎの宮：河合>

ケアマネの、障害福祉に対する理解が、より深まると思う。

<ウイズ半田：斯波>

高齢者のケアマネ研修では、障害分野のレクチャーを行っているのだろうか？誰か知っていませんか？

<包括支援センターさぎの宮：河合>

ケアマネの研修では、障害分野との連携を図るように、と言われるだけで、サービス導入にあたっての実践的な研修は、行われてはいない。

<ウイズ半田：斯波>

おそらく深くはやっていないだろうと感じていた。8050問題や9060問題の時代に、ケアマネの機能を強化していかないと困るだろう。

社会福祉課長に申し上げたいが、県の福祉行政に提案を上げてもらえると嬉しい。年初めにアンケートを書いたのだが、返事が来ていないので、改めてお願いしたい。

<東区社会福祉課：鈴木課長>

自分の方で高齢者部門との話し合い、市として県へ意見具申してゆきたい。

<障害者相談支援事業所ひがし：長谷川>

報告に追加するが、今回の研修を開催するにあたって、どうしたらケアマネに多数参加してもらえるかを考えたところ、参加証明を発行することにした。参加証明が理由づけになり、若干参加数が多かったように見受けられる。

②障がい者の余暇支援ワーキンググループ

<報告：浜松市東障がい者相談支援センター：平野>

これまでも報告しているので、発足の経緯と目的は割愛する。

4月12日に第2回のワーキングを開催した。集団移動支援について興味の

ある事業所が出てきている。協力できる、との返事をもらっている。
もう少しで実現できそうな状況。

<浜松市東障がい者相談支援センター：三嶋>

質問は無いかな？社会福祉協議会の高桑さん、感想は？

<社会福祉法人社会福祉協議会：高桑>

もともと有る高齢者サロンの話が、現実的に少しずつ始まっている様子。
障害者を対象とした居場所は、まだまだ手薄だと思う。今後のつながりを
考えて、何か手伝えることが有れば協力したいと思っている。

<浜松手をつなぐ育成会：高林>

なかなか難しい問題だが、少しずつ前に進んでいるので、今後に期待して
いる。

<浜松市東障がい者相談支援センター：三嶋>

質問、意見を今後反映してゆきたい。調整して企画会議に出してゆきたい。

(2) 令和3年 東エリア連絡会 ネットワーク会議の報告

<報告：浜松市東障がい者相談支援センター：高橋>

コロナ禍でも以前と同様の作業量を維持している事業所も有り、新たな販
売先の開拓や、作業内容の見直し、新規作業の開拓をする等工夫を行って
いた。

<浜松市東障がい者相談支援センター：三嶋>

コロナが無くならない中、どういった取り組みでネットワークを作って行
くべきか、意見は無いかな。

<障害者相談支援事業所ひがし：長谷川>

当事業所では、顔が見える関係作りを続けてゆくためにも、地域の体育館
を借りて距離を保った条件で、ざっくばらんに話せる工夫を試みた。

<浜松市東障がい者相談支援センター：高橋>

直接顔の見える関係作りが大切だと感じた。

<児童発達支援センターさんぼみち：濱島>

事業ごとには、地域とのつながりが作られているが、大きな視点でサービ
スごとにエリアネットワークができていない。

<浜松市東障がい者相談支援センター：高橋>

確かに、サービスごととなると、意見が出ない傾向がある。今年度の検討
課題としたい。

<浜松市東障がい者相談支援センター：三嶋>

提案のある方は、センターに電話下さい。

(3) 令和3年 東エリア連絡会 研修の報告

<報告：浜松市東障がい者相談支援センター：高橋>

令和4年3月7日（月）に「地域の力で障がい家庭を支える」というテー

マで、研修会を開催した。

<浜松市東障がい者相談支援センター：三嶋>

質問は？無いようなので次に進む。

(4) 東区自立支援連絡会広報誌について

<報告：浜松市東障がい者相談支援センター：野口>

自立支援協議会の構成員から、「事務局の活動をもっと身近でわかりやすいように紹介して欲しい」との意見が有り、広報誌を作成することとなった。どんな内容を掲載すればよいか。お知恵をお借りしたい。

<浜松市東障がい者相談支援センター：三嶋>

意見は有るか？

<民生委員児童委員：清水>

課題のある家庭に対して、どんな取り組み方が有るのか、どんな方法が有るのか、民生委員にとっては気になる事なので、地区会長ぐらいには配布願いたい。できれば予定の10月よりも早く配布願いたい。なぜなら、11月は民生委員の改選期になるので。

<浜松手をつなぐ育成会：高林>

広報誌に各事業所での催しについての情報が載っていれば、交流が生まれて、楽しいかもしれない。

<浜松市東障がい者相談支援センター：三嶋>

貴重な意見ありがとうございました。掲載内容について、何か思いついたら連絡欲しい。

3. 地域課題に関するケース票について

<説明：浜松市東障がい者相談支援センター：平野>

「地域体制強化共同支援 記録表」について、市の書式をもとに東エリアの仕様になっている。提案や意見が有ったらいただきたい。

3 閉 会

<浜松市東障がい者相談支援センター：三嶋>

今回は、秋ごろ、9月か10月頃に日中支援型グループホームの評価がある。予定しておいてほしい。